

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

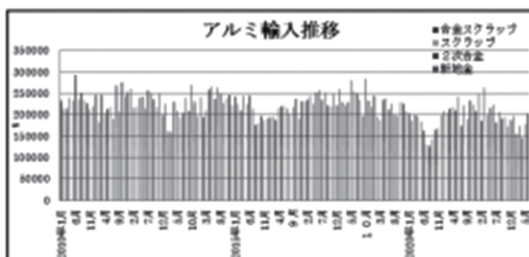
7月のアルミ概況および8月の見通し (2)

予想レンジ		
LME現物後場買い	2,000-2,200ドル	●
スクラップ	0円 (前月最終価格より)	●
為替	140円~145円	●
(1か月間TTM)		

輸入

輸入	4月	5月	6月
新地金	6万4476 t	9万6032 t	9万8926 t
前年比	-45.5%	-23.1%	-24.3%
二次合金	7万9412 t	8万5535 t	10万2473 t
前年比	+0.7%	-4.9%	+11.3%
スクラップ	945 t	996 t	612 t
前年比	-10.5%	+60%	-10.6%
合金スクラップ	7188 t	9513 t	7038 t
前年比	+11.6%	+15.6%	-5.9%

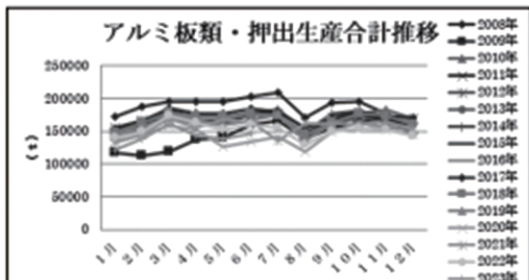
輸入推移



出典 財務省貿易統計

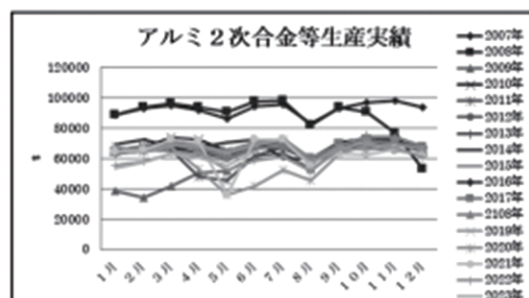
【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-8.7%の14万5,729 tで15カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム協会

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>


出典 日本アルミニウム合金協会

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+9%の6万4,065 tで2カ月連続プラス。

出荷+9.2%の6万5,940 tで7カ月ぶりプラス。

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると6月の自動車生産台数は前年比+16.1%の72万7,097台。

輸出は前年同月比+34.8%の38万4,938台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると7月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+18.3%の25万3,241台。

内訳は乗用車が+18.7%、貨物が+14.1%、バスが+109.5%。

【住宅着工戸数】

6月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比4.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比5.9%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は71,015戸。前年同月比4.8%減、先月の増加から再びの減少。

○新設住宅着工床面積は5,722千㎡。前年同月比5.1%減、5カ月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では811千戸。前月比5.9%減、先月の増加から再びの減少。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521-1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-8.7%の14万5,729 tで15カ月連続マイナス。

板類は、8万9,076 tの-10.4%で14カ月連続マイナス。

押出類は、5万6,653 tの-5.8%で17カ月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比 +9%の6万4,065 tで2カ月連続プラス。

出荷は+9.2%の6万5,940 tで7か月ぶりプラス。

●アルミ

【輸出】

新地金は-71.1%の268 t。

二次合金は-34.3%の1,105 t。

スクラップは-15.1%の3万3,473 t。

アルミ缶は+7.2%の5,489 t。

【輸入】

新地金は-24.3%の9万8,926 t。

二次合金は+11.3%の10万2,437 t。

スクラップは-10.6%の612 t。

合金スクラップは-5.9%の7,038 t。

【見通し】

【自動車】

6月の自動車生産が+16.1%。7月国内販売台数が前年比+18.3%。

6か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり今後に期待。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-8.7%の14万5,729 tで15カ月連続マイナス。スマホ、エアコン需要の低迷から来月も期待薄。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比 +9%の6万4,065 tで2カ月連続プラス。

出荷は+9.2% 6万5,940 tで7か月ぶりプラス。

日本の自動車生産販売は堅調、今後に期待。

【スクラップ景況予想】

流通（一次問屋）在庫は前月に続き欧米の金融引き締め策からLME価格が2,100-2,200ドルと前月より100ドル程度下落傾向だった。自動車生産は回復基調にあるが今月もまだ入荷も少なそう。

需要面に関しては、日本の自動車生産販売は堅調だが爆発的な需要はなかったが来月以降はそろそろ需給回復の兆しがあるかも。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米FRB利上げ停止後の金融政策、②中国景気回復の動向。

①に関しては、7月0.25利上げ、9月は据え置きとの予想も多いがFRBは柔軟に対応すると言っており、その都度、思惑に応じた策になるため極端な展開にはならないだろう。

②に関しては、マーケットには中国景気対策期待はあるものの中々出てこないのが現状。

今月も大胆な策がでる可能性は低い。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,000-2,200ドル（セトル）との予想。ドル円値は140円~145円（TTM）を予測。スクラップ購入価格に関しては、据置程度と予想している。

（「7月のアルミ概況および8月の見通し」おわり）

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30

TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128